

可児市議会

選挙に関する
アンケート 報告書

令和6年4月

可児市議会

1 調査の概要

・調査の目的

可見市議会では、定期的に市民の意識、意見等を把握するため議会に対するアンケート調査（平成23年・平成28年・令和3年）を実施し、市民にわかりやすく開かれた議会づくりと、監視・評価、政策立案できる議会を目指し、これまで議会改革に取り組んできました。

しかし、この度の令和5年7月30日に執行された市議会議員選挙の投票率は37.57%と過去最低となりました。この結果は、議会に対する関心の低さの表れともいえます。そこで、今後の議会のあり方や議会活動の参考にすべく、無作為抽出した市民2000人を対象に、今回の選挙に関し、簡易な臨時アンケート調査を実施しました。

・質問項目

- 問1、2 あなたご自身について（年代・性別）
- 問3 令和5年7月30日執行の市議会議員選挙に行ったか
行かなかった場合、その理由は
- 問4 過去最低の投票率だったことについてどう思うか
- 問5 投票率はどうしたら上がると思うか
- ①市長選挙や国政選挙と同日に行う
 - ②人が集まるショッピングセンターや学校に投票所を設置する
 - ③スマートフォンで投票できるようにする
 - ④その他（自由記述）
- 問6 市に望むこと、議会に期待することなど、自由記述

・調査設計

- 調査地域 : 市全域
- 調査対象者 : 市内在住の18歳以上の方 ※市議会議員選挙の有権者
- 標本数 : 2,000人
- 抽出方法 : 住民基本台帳から、無作為に抽出
- 調査期間 : 令和5年10月25日～令和5年11月30日
- 調査方法 : 郵送による配布
: 郵送およびウェブによる回収

・回収結果

配布数	有効配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000	1,995	636	636	31.9%

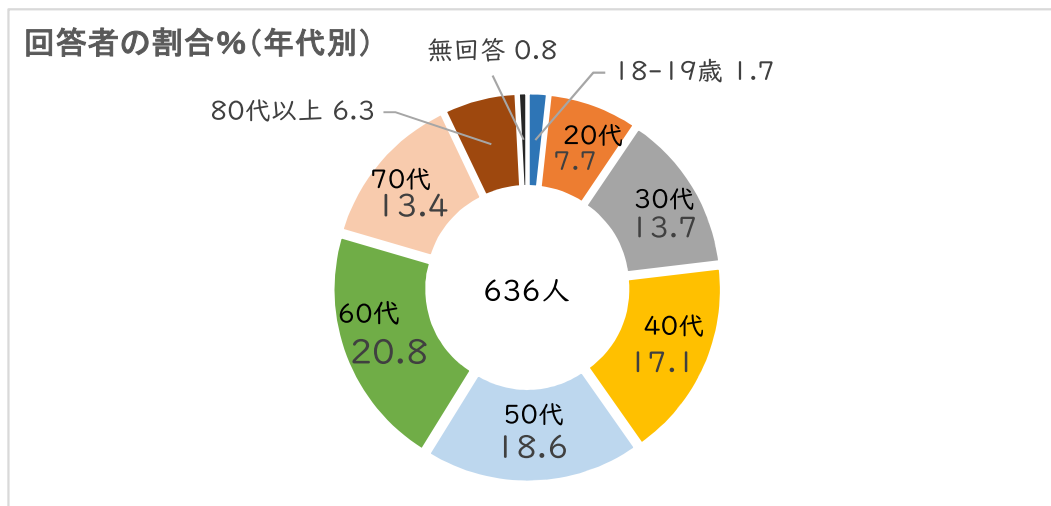
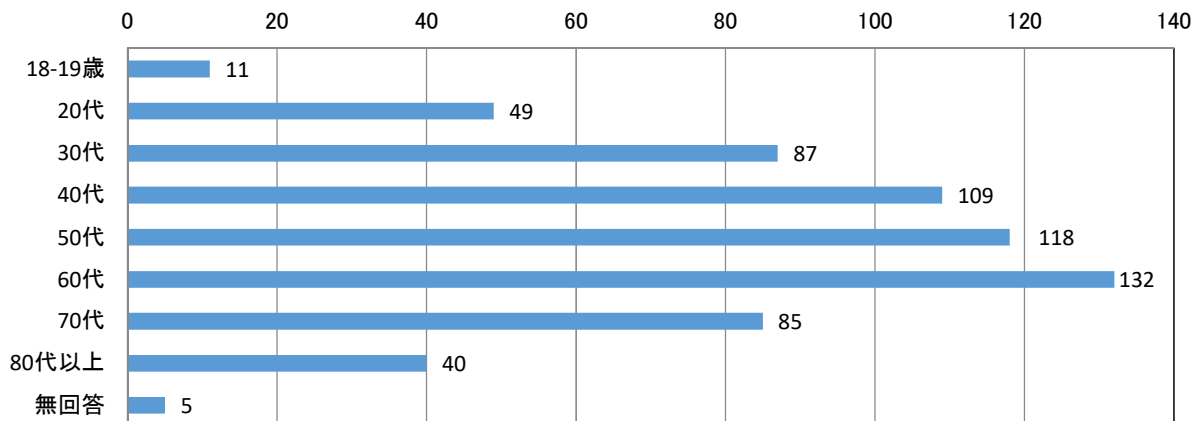
・集計について

端数が生じた場合は、原則小数点第二位を四捨五入しています。また、端数処理の関係で割合の合計が100とならない場合があります。

2 調査の結果

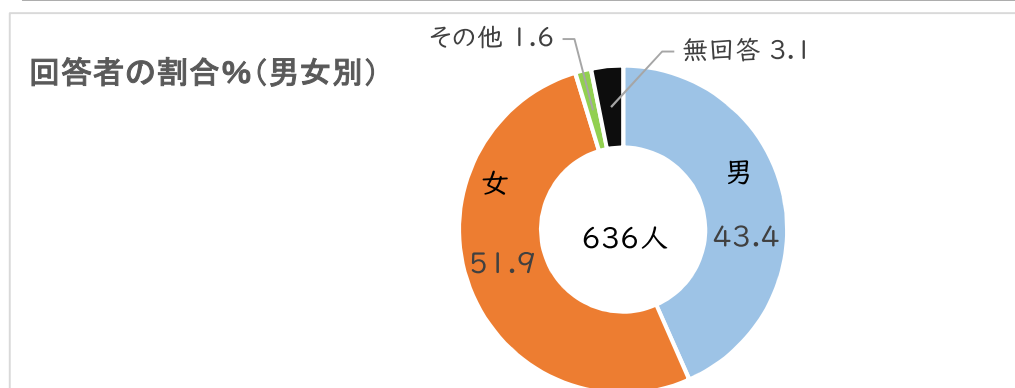
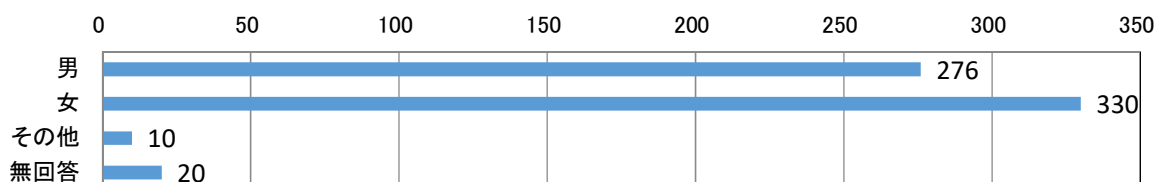
問1 あなたの年代を教えてください。（ひとつだけに○）

回答者の年代は「60代」が132人（20.8%）と最も多く、次いで「50代」「40代」「30代」「70代」の順になっています。「18歳-19歳」「20代」は10%未満と低い数値となっています。



問2 あなたの性別を教えてください。（ひとつだけに○）

性別は、男性276人（43.4%）、女性330人（51.9%）と、女性の回答が高い割合となりました。



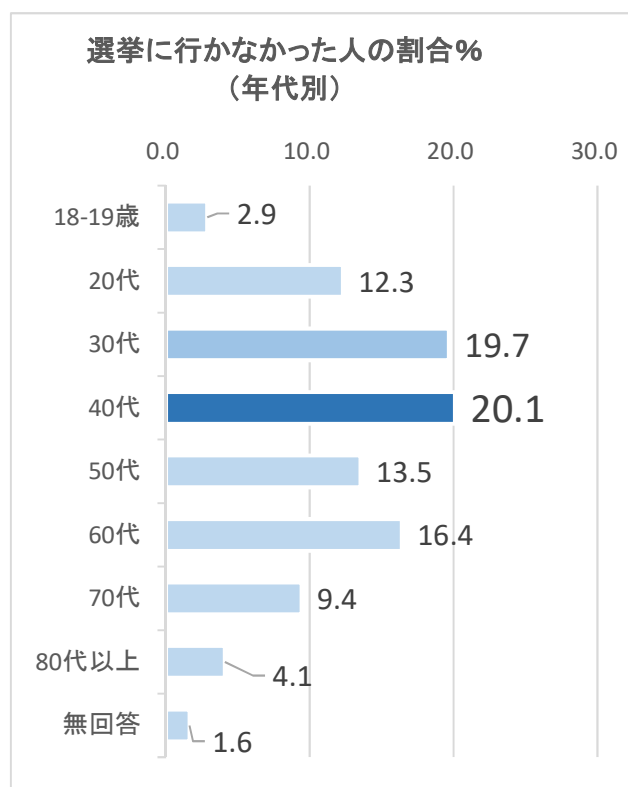
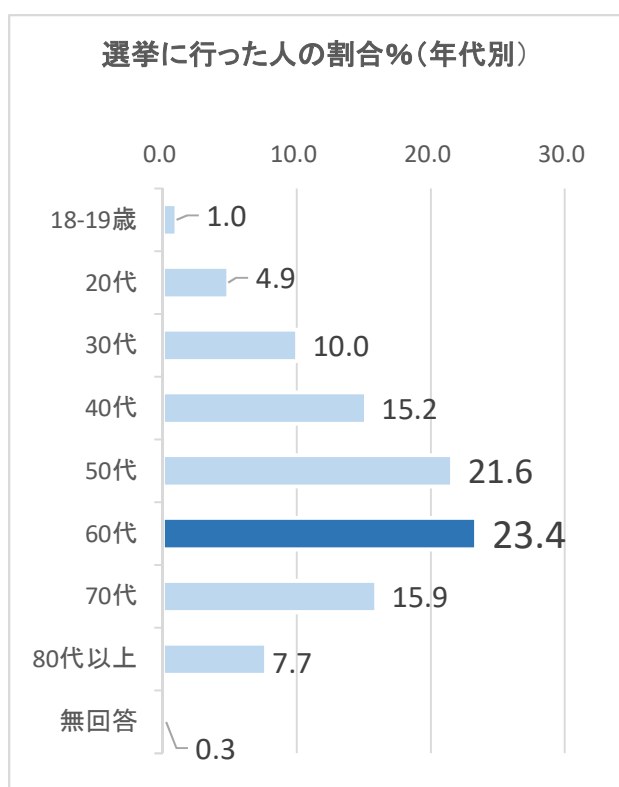
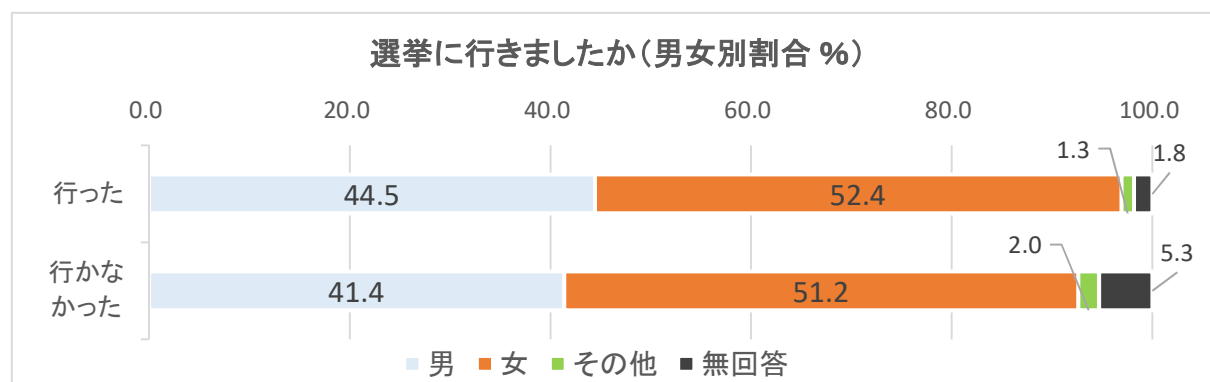
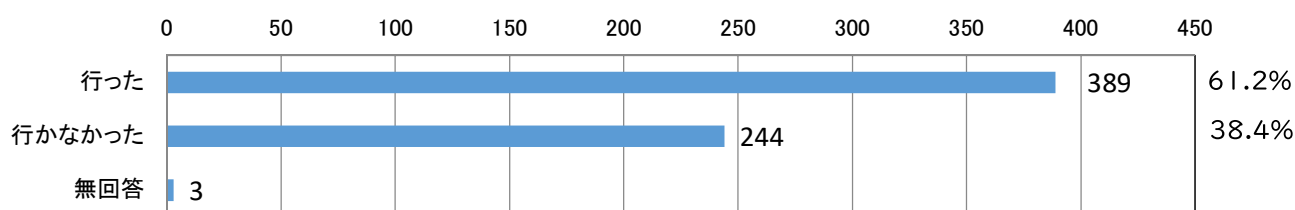
問3-1 令和5年7月30日執行の可見市議会議員選挙に行きましたか。（ひとつだけ○）

「選挙に行った」が389人（61.2%）、「行かなかった」が244人（38.4%）と、アンケートに回答いただいた方の投票率は高いものとなりましたが、回答者は市政や議会に一定の関心のある方が多いと想定され、投票率も高くなった可能性があるかと推測されます。

男女別では、いずれも女性の割合が高くなりましたが、大きな差はないようです。

選挙に行った人の割合（年代別）は、「60代」が最も高く（23.4%）、次いで「50代」（21.6%）、「70代」（15.9%）の順となり、最も低い「18歳-19歳」（1.0%）と比較すると20ポイント近くの差が生じています。

選挙に行かなかった人の割合（年代別）では、「40代」が最も高く（20.1%）、次いで「30代」（19.7%）、「60代」（16.4%）の順となっています。選挙に行かなかった人の割合は若い世代で高い傾向にあります。



問3-2 市議会議員選挙に行かなかった理由はなんですか。（自由記述）

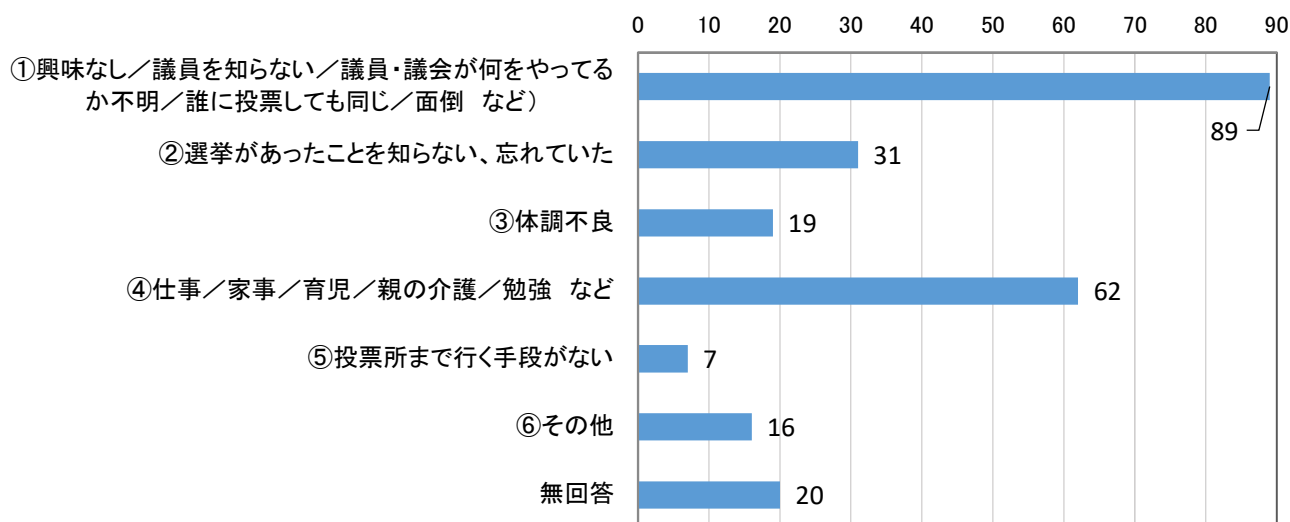
今回の選挙に行かなかった理由を大きく分類分けすると、①「興味・関心が無い」といった趣旨の理由が89件（36.5%）と最も多く、3割を超えています。「議会に興味がない」「そもそも議員を知らない」「誰がなっても同じ、期待できない」といった声が多くありました。この理由が、50代、60代の選挙に行かなかった理由として最も高い割合を占めています。いずれも議員や議会が市民に身近な存在とは言い難い結果となりました。

次いで④「仕事、家事、育児、親の介護、勉強」などの理由が62件（25.4%）と2番目に多く、30代、40代で高い割合となっています。

②「選挙があったことを知らない・忘れていた」は、31件（12.7%）で、特に30代が選挙に行かなかった理由として顕著となっています。選挙の周知方法にも一定の課題があることがうかがえます。

⑤「投票所まで行く手段がない」は全体の割合としては7件（2.9%）と最も低いですが、70代、80代の理由の多くを占めることがわかります。

行かなかった… 244 人



各理由の年代別割合

①興味なし、だれに投票しても同じ

18-19歳	2.2 %
20代	9.0 %
30代	14.6 %
40代	20.2 %
50代	20.2 %
60代	22.5 %
70代	9.0 %
80代以上	0.0 %
無回答	2.2 %

②選挙を知らない、忘れていた

18-19歳	0.0 %
20代	9.7 %
30代	41.9 %
40代	19.4 %
50代	9.7 %
60代	9.7 %
70代	9.7 %
80代以上	0.0 %
無回答	0.0 %

③体調不良

18-19歳	0.0 %
20代	0.0 %
30代	5.3 %
40代	21.1 %
50代	15.8 %
60代	21.1 %
70代	21.1 %
80代以上	15.8 %
無回答	0.0 %

④仕事、家事、育児等

18-19歳	4.8 %
20代	17.7 %
30代	24.2 %
40代	25.8 %
50代	9.7 %
60代	11.3 %
70代	1.6 %
80代以上	3.2 %
無回答	1.6 %

⑤投票所まで行く手段なし

18-19歳	0.0 %
20代	0.0 %
30代	0.0 %
40代	0.0 %
50代	0.0 %
60代	0.0 %
70代	28.6 %
80代以上	57.1 %
無回答	14.3 %

行かなかった理由の抜すい（自由記述）

- ・ 誰に投票しても何かが変わると思えない。（10代男性）（30代女性）
- ・ 市議会議員をほとんど知らないため。投票しても現状変化に期待が持てないと強く思う。比較的若い議員の立候補が少ないと感じるため。（60代男性）
- ・ わざわざ行って投票しても若者の声に耳を傾けようとしないから意味がない。（20代）
- ・ 誰に投票していいかわからないから。経歴や公約等、人数分も詳しく調べている暇はない。（40代女性）
- ・ 投票したい候補者がいないから。（50代女性）
- ・ 政治家として議員になるなら、そこには 志・政治信条 が存在しなければならないが、そのようなものを感じられる議員は失礼ですが1人も居りません。政策云々以前の問題として、全く市民に寄り添っているとは思えないことが多い。
いつも同じようなメンバーが立候補し、同じようなメンバーが当選する。
生活に余裕のない現在の市民からしてみれば、投票に行く気にはならない。（60代男性）
- ・ 仕事、家事、育児で毎日忙しいので、平日は時間がなく、土日は行きたくない。（30代女性）
- ・ 子どもがまだ小さくて外出が難しかったから（30代女性）
- ・ 仕事での長期出張のため行けなかった（40代男性）
- ・ 高齢で投票会場まで行けない。一人暮らして連れていってもらえる人もいない。

⑥その他

- ・ 選挙会場の重苦しい空気が苦手だからです。（10代女性）
- ・ 自民党政治を見ていて辟易している。（60代男性）
- ・ 理由なし。理由を覚えていない。

行った理由の抜すい（自由記述）

- ・ 家族が行くので一緒に行った。特に行かないという気持ちはあまりなかった（20代女性）
- ・ 選挙は必ず投票に行く決めていて、市議選は最も身近な政治に直結するものだから。（30代女性）
- ・ 可児市の運営を任かせるのだから行くのは当然だ。（50代男性）
- ・ 選挙に行くのは有権者の義務だと思うから、行くのが当たり前（30代男性）

問4 今回の市議会議員選挙の投票率が過去最低（37.57% 前回：55.34%） だったことについてどう思いますか（自由記述）

過去最低の投票率だったことについて、どう思うかを自由記述いただいたところ、全体としては、投票した方・しなかった方の両者から「自分が投票してもしなくても変わらない」「誰がなっても変わらないと思っているのでは」といった趣旨の声が多くありました。

市民に最も近い存在である市議会議員の選挙に対するこれらの声は真摯に受け止める必要があります。

各世代において、投票率の低さを危惧し、もっと市政やまちづくりに関心を持つべきという声もある一方で、「特に何も思わない」という意見もありました。若い世代に限らず市政への関心・意識の低さの表れとも言えるかもしれません。

可児市議会では、高校で模擬選挙を実施するなど、人を選ぶ重要性を伝える活動をしてきました。子ども議会や中学生議会などの活動を通して、子どもの頃からまちづくりに関心を持ってもらえるよう、今後も取り組む必要がありそうです。

いずれにしても、議会・議員の各種活動をより充実させ、その上でこういった活動をしているのか、どう市政に活かされているのかを色々な世代に、わかりやすく伝える必要があります。

10代の意見

- 選挙カー以外で日常の中で市の政治を考える機会があまりなく、候補者の情報が入ってこない。私の年代は選挙権を得たばかりで興味があると思う。
- 選挙に対しての意識が低すぎる。誰に投票したらいいのか分からないなら、記述なし投票でもいいので、もっと投票所に行くように意識するべきだと思う。
- わざわざ会場に行って投票するのは手間なので低くなるのも納得かなと思いました。
- 日本の若者がいかに政治に関心を寄せていない事が数字に反映されてると思いました。

20代の意見

- SNSを見ていると政治に関わっていない人が過ごしやすいと思う国の理想と、議員の方々が思い描く理想の国が全然違うんだなとよく感じます。国民の声が届きにくいと感じるがゆえに「自分が投票しても何も変わらない」とあきらめている方が多いのではないのかと思います。
- 今回の選挙は定数を大きく超えていたのに、投票率が過去最低というのは政治に興味を持ててないのだと思う。安芸高田市のようにYouTubeが収益化できるくらい盛り上がりればいいのにとと思う。
- 良くない状態とは分かりつつも、学校でも習わないことに対して興味を抱くのは難しいと思う。
- 相対的にも数値的にも低いと思う。ただ今までの活動による不信感による結果だと思う。もし、市民の声を採り入れた政策、わかりやすい・見える還元などがあれば、もっと関心を持って投票数も増えたのではないかと思う。

30代の意見

- 候補者の選び方が分からなかったり、自分達の生活にどのように影響してくるのか実感が持てない人が多いのだと思う。
- 色々な種類の選挙があるが、選挙について（政治などについて）難しい、分からないなどの苦手意識があるのではないかと思います。私もわからないので毎回調べてから投票に行っています。子ども達への教育をしっかり行い、私たちのような大人にならないでほしい。住宅地への選挙カーの出入はやめてほしい。赤ちゃんが何度も起きてしまい、嫌なイメージが残っている。
- 共働きが増えているので、土日は平日にやれないことをまとめてやらないといけない。そこに子どもとの時間もつくりたいといけない。なかなか投票に行く余裕がないと思います。子供と遊びに行くついでに投票出来たらありがたいかもしれない。
- 定数が多いので落選者も少なく、投票してもしなくても変わらないと思ってしまうので、定数を半数ぐらいにしてはどうかと思う。

40代の意見

- 市議会議員選挙のみならず国政選挙も含めて、選挙で選出された人に期待をしていない現れだと思われます。私自身も投票には行きましたが、前述した通りの気持ちは持っており、変わる事が無いとわかりつつ投票している一人です。また、知人に投票に行ったかを個人的に聞いたところ、興味すら無いとの言葉に今の日本の有様が垣間見えました。
- 市議会議員選挙に限らず、選挙全体への関心、興味が低い状況で、とても残念に思っています。しかしながら、視点を変えたと、市民の皆さんは、現状の政策や取り組みに満足しており、『選挙に行ったら現状を変えなければならない』という必要性が無く、現状維持を望んでいる結果なのかもしれない、とも思っています。
- 私自身も今回の市議会議員選挙では初めて興味を持ち、投票した一人です。これまでは市議会ではどのような仕事が行われているかなど、自分とは無縁と思い、知ろうともしなかったのが正直なところです。ですが今はSNSで発信してくださる議員さんたちを通して、直接自分と接点はなくても、日頃の活動がわかりやすく目に見えてとても身近に感じられるようになり、それが自然と市議会全体に興味を持つきっかけになりました。議員さんのSNS自体をもっとアピールしてもいいのではないのでしょうか。
- 本当に残念。選挙に行かなくても良いことが当たり前の世の中、大人になっている。議員が誰がなっても同じだと思っているかもしれない。魅力ある公約、投票して良かったと思える立候補者であると、また違った投票率になるかもしれない。

- 投票は国民としての義務であり、権利でもあると思うので、嘆かわしいことだと思います。投票に行けない身体的・精神的事情には十分に寄り添いつつ、特に事情もなく行かない人におもねりすぎるのも、おかしいと思います。
- 前回の投票率と比べるとだいぶ低い投票率だと思う。自分もそうですが自分が住んでいる町なのでもう少し関心をもたないといけないと思った。

50代の意見

- 私は決めていた人がいたので投票に行きました。この人！という人がいないのかもしれませんが。投票して何が変わるのか？もっと市議会議員を身近に感じたいです。SNSを使ってアピールしてみるのも一つの手です。若い人はSNSを使って活動報告してます。目で見て聞いて、メッセージを送る。その人は身近に感じます。
- 低いのに驚きました。一票の大切さがもっと市民一人ひとりに伝わるよう頑張ってください。
- 市議会議員という事で地元への貢献を1番意識していると思いますが、選挙活動で候補者の名前をアピールしているだけで何をしたいかをもっと訴えかける活動をした方が関心が集まるのではないかと感じました。
- 前は国政選挙と同日だったから50%超えただけと思う。市議選挙はこんなものと思っている。
- 市政への関心が薄れているのかも。市政を良くするためには、市の代表である議員さんとの情報共有を行い、市政に注視する必要があると思います。無関心ではダメですね。
- 残念に思うが、誰になっても現状が変わらないのもっと生きやすくして欲しい。

60代の意見

- 期待して投票に行ったのに効果があまり見られない、感じられないと次に投票に行っても期待できない気持ちが強くて行く人が減るのでは。
- 時代も変わり、過去の考え方にしばられず、若い人たちの目線で1から考え直してみたらよいと思う。投票所のあの緊張する雰囲気は私でも行きたくないと思う。
- 特に争点が無いからだと思う。(もしくは、誰を選んでも変わらないとか)
- 若い世代の投票率が低いのでは。名前を連呼するだけなので誰に投票したらいいかわからない。

70代の意見

- 可児市の将来を考えると大変不安に感じる。立候補者は、この結果をどの様に考えているかを知りたい。
- 行かない人は自分に差し迫った事がないので投票には行かないと思う。投票率を上げる意味はどこにありますか。どうして上げたいですか、上げるとどのように議会が変わりますか。
- とても残念に思っています。一人一人が社会の現状に関心を持って次の世代につながる社会作り、住みよい市になるように参加してほしい。
- 確かに低い。だんだん高齢者が増えていきますので、行くだけでも大変だと思う。
- 議員の活動が見えない。政策を年ごとに絞り込んで。今年は教育、来年は高齢化対策をとか総合的にではなく、特徴を持って取り組んではどうか。

80代以上の意見

- 投票所が遠い。移動投票車などあれば楽に投票できると思う。
- 若い人達が集まる所で投票できると良いと思う。夏の暑い時をはぶいて。
- 告示から候補者の意見が全然聞けなかった。

問5 投票率はどうしたら上がると思いますか。（複数回答可）

1. 市長選挙や国政選挙と同日に行う
2. 人が集まるショッピングセンターや学校に投票所を設置する
3. スマートフォンで投票できるようにする
4. その他（自由記述）

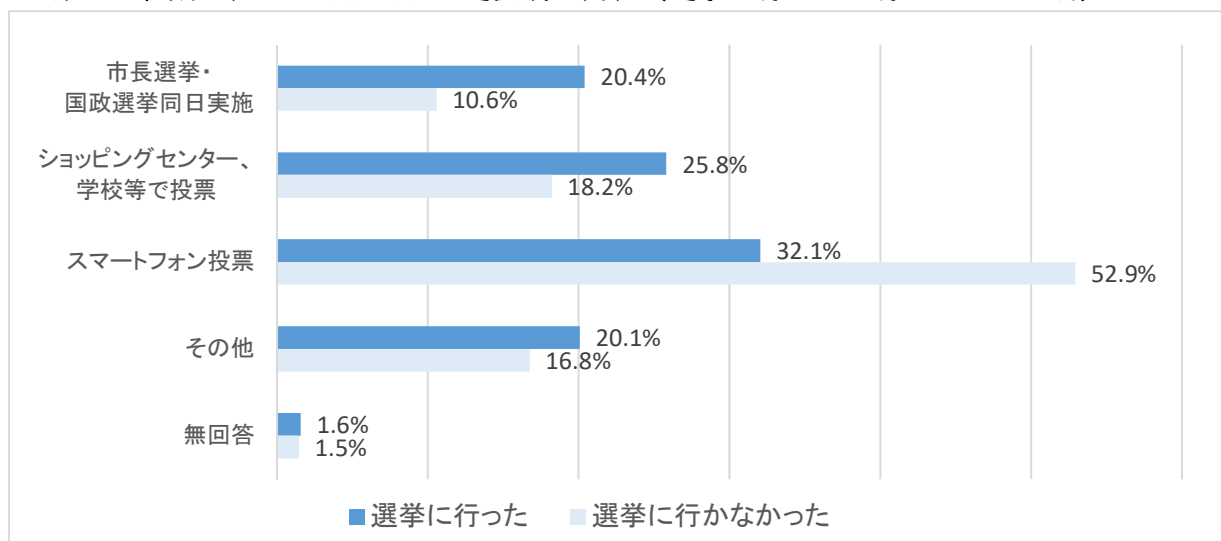
どうしたら投票率が上がると思うかについては、「3. スマートフォンで投票できるようにする」が最も高く、次いで「2. 人が集まるショッピングセンターや学校に投票所を設置する」となり、今回の選挙に行った方・行かなかった方ともに、同様の傾向となりました。中でも、10代から60代までの多くの世代で「スマートフォンで投票できるようにする」が最も多く、選挙に行かなかった方の場合、全体の52.9%を占め、非常に高い結果となりました。2番目に高い「ショッピングセンター、学校等での投票」とは34.7ポイントもの差があることが特徴です。

選挙に行かなかった理由として、仕事や家事、育児で多忙であったり、面倒だったという声が挙げられましたが、投票方法が簡便だと投票へのハードルは下がる傾向にあるようです。

選挙制度は、公職選挙法でその態様が厳格に定められているため、変更することは容易ではありませんが、将来的にはスマートフォンやオンラインでの投票も視野に入れた、様々な議論が必要だと考えられる結果となりました。

なお、投票の利便性を上げることは重要ですが、議会・議員がその役割を果たすとともに、活動の成果を実感してもらうことで、その結果議会への関心が高まり投票率につながる、など議会活動の充実が不可欠であることは言うまでもありません。

全体の回答数に占めるそれぞれの選択肢の割合（選挙に行った・行かなかった別）



各世代ごとの回答数・複数回答可（全体）

	18-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	計
1 市長選挙・国政選挙同日	0	4	16	26	25	41	37	15	0	164
2 ショッピングセンター、学校等	3	9	29	33	51	43	31	23	2	224
3 スマートフォン投票	10	43	65	85	74	66	26	10	3	382
4 その他	1	7	24	37	31	40	28	12	4	184
無回答	0	1	0	1	2	6	4	2	0	16
計	14	64	134	182	183	196	126	62	9	970

問5 選択肢4の「その他」を選んだ方の意見の抜すい（自由記述）

●…選挙行った ○…選挙行かなかった

10代の意見

- もっと政治の話を身近に感じるような対策をする。

20代の意見

- （人が集まるショッピングセンターや学校等で投票できても）わざわざそこに行かないといけな
いなら億劫だと思う。保育園や駅など日常的に通る所に平日投票できるようにする。わざわざ選
挙のためにどっかに行くというのがハードルを上げていると思う。
- インターネット上に候補者などの情報をのせてほしい。真剣に選びたくても情報がなさ過ぎて、
何をもとに投票先を決めればいいのか全く分からない。
- 市議会について知る機会が欲しい。特に中高生の知識を底上げしていくことで今後に期待でき
ると思う。

30代の意見

- 政策がわかりにくい。難しい用語が出てくると若者は何のことかわかりません。もっと簡潔に！
議員が高齢化している。何がしたいかわからない。税金の使い道とかもわからない。
- 市議の定年（60歳）をもうけて、若返った議会にする。若い人がいなくても、定年に達しないと
しても若返らせてほしいです。
- 何かのイベント開催日に合わせて行こう。投票したら粗品がもらえるなどちょっとした特典をつ
ける。
- 投票の機会を増やすよりも必要性を感じてもらう方が良いのではないかな。
- 投票以前に選挙に興味関心がもてるように、選挙に投票したら自分たちの意見が反映される、よ
りよい社会になる事がわかるよう提示する事で初めて投票率が上がると思う。興味関心が持て
ればどのような形であれ投票に行くと思う。

40代の意見

- 投票しようと思っても、候補者のマニフェストなどに触れられる機会が少なく、誰に投票し
ようか決めかねる。ショッピングモールとかで、候補者のことを知れる機会が増え、投票もしや
すいといよい。
- 市の政策、計画をもっと魅力あるものを打ち出してもらえたら「そうなるなら行かなくちゃ」と
思えるかもしれない。
- 議員の方が、具体的に何をしてくれたか、もっと色々な手段で知ることができれば、興味を持
てそう。

50代の意見

- 投票率を上げることを目的にしないで下さい。生活が良くなること、可児市が発展すること、将
来・未来が良くなること、子供たちの為になること等のために議会が何かをしてくれると期待で
きるようになれば、結果として投票率は上がるでしょう。
- お祭りでは人が集まるのだから（先日の帷子花火大会等）、イベント絡みにしてしまう。「行くの
が楽しい選挙」にするしか無い。（キッチンカーとかバザーとか）
- 立候補者がいないから、議員に危機感がない。議員になろうと思う人もいない。
- SNSを駆使して、生活の近くに情報を訴求させる。

60代の意見

- 選挙は民主主義の根幹であること、たかが一票投票しても何も変わらないと思わず、選挙に関心
を持つことの大切さについて十分な教育が必要。
- 投票したい候補者がいることが重要。投票率が上がったとしても、適当に投票されては、なっ
てはならない人物が当選してしまう。
- 投票場所や投票方法が問題の前に、市民が一番望んでいることは何か、困っていることは何かを
議論し、目に見えるような回答をしてくれるような議会になれば投票率は上がると思います。
- Web・紙面による、理解しやすい、市政状況をしっかりと伝える事が大事だと考える。

70代の意見

- 今回の立候補者は高齢者が多く、斬新的な政策を唱える人が居なかったため、市民は誰が当選してもさほど自分にとって影響は無いと考え参加をしなかったと思う。若い世代の立候補者の擁立が必要、そうした環境を作る必要がある。
- 中学生に実際の議会がどのように行われているか学校のテレビで中継授業を行うと、大人になってから少しは議会の事を考える子が出てくるのではないのでしょうか。
- 候補者に対しいくつかの可児市の課題を与え、それについての考え、取り組みを提示させることにより比較することができる。

80代の意見

- 議員が身近なことを何もしてくれず自分のことだけしか考えていないのなら、どこで選挙しても同じだと思います。
- 年代によっては足がないため投票しない。バス等の用意をし投票所まで送る事も考えてほしい。
- 議員の質の向上

問6 「こんな可児市になってほしい」、「可児市議会に期待すること」などご自由にお書きください。（自由記述）

自由記述いただいた内容を大きく分類分けすると、「1. 求める市の姿や、市政への意見・要望」などが321件（62.5%）、「2. 求める議会・議員の姿や、議会への意見・要望」などが121件（23.5%）でした。

市政に関する意見では、「誰もが住みよいまち」はもちろんのこと、「子ども・子育て支援」や「若い世代が住みよいまち」になってほしいとの声が多くありました。総じて「可児市にはこれがある」と誇れるものが必要とされています。

議会に関する意見では、「議会・議員が何をしているのかわからない」、「日頃からもっと市民の声を聴いてほしい、議員が身近になってほしい」といった活動の見える化や身近な議会・議員を求める意見が多く、これらを合わせると47.1%ほどを占めています。

議会・議員が市民の声を拾い上げ、市政に反映させていくとともに、その活動内容や成果をわかりやすく周知する取り組みをさらに強化させる必要があります。

また、これまで高校生・中学生・子ども議会などの若い世代に議会を身近に感じてもらう取り組みをしてきましたが、幅広い交流を継続していくことも重要と考えます。

記入件数 514 件

1	求める市の姿、市政への要望・意見など	321 件	62.5%
(うち 主な意見)	子育てしやすいまち・子どもにやさしいまち	44 件	(13.7%)
	若い世代が住みたいまち、若者が活躍できるまち	33 件	(10.3%)
	公共交通の充実	32 件	(10.0%)
	商業施設・企業の誘致	24 件	(7.5%)
	水道料金、税金、保険料等を安くしてほしい	18 件	(5.6%)
2	求める議会・議員の姿、要望・意見など	121 件	23.5%
(うち 主な意見)	議会・議員の役割、活動の見える化	34 件	(28.1%)
	議員の高齢化・若返り	25 件	(20.7%)
	身近な議会・議員、市民の意見を聴く議会・議員	23 件	(19.0%)
	議員の定数削減	10 件	(8.3%)
3	市民の意見を聴く機会の充実（行政・議会問わず）	9 件	1.8%
4	選挙に関する意見	6 件	1.2%
5	その他（特になし、現状のままでよいなども含む。）	57 件	11.1%
	計 ※複数回答のため記入件数と一致しません。	514 件	

Ⅰ 求める市の姿、市政への要望・意見など

- 人々が集まる大きなイベントがたくさんある市（10代女性）
- もっとキャッシュレスやオンラインでの手続きができるようにしてほしい。福岡みたいに。（20代男性）
- 財源確保の問題はあると思うが子育て支援をもっと充実させたほうが良いと思う。子育て支援が充実すれば子育て世代が増え人口も増えると感じる。（30代女性）
- 市で行っていること、政策や新しい取り組み等について可見市のHPや冊子だけでなくせっかくLINEがあるのでそちらでも発信して欲しい。（30代女性）
- 市というより個々の自治会をもっと活性化すると良いと思う。（30代男性）
- 人口の割に整備された公園など公共施設が少ない。子ども達が行きたくなる公園やそれについていく保護者にとっても過ごしやすい（座るところや日陰やトイレ）場所がもっと欲しい。そこに、例えば災害時に使える設備が整っていたら尚いいと思う。（40代女性）
- 大人も子どもも安心して住める町。どんな人も最低限の人間らしい生活ができる町。何らかの理由で生活が苦しい時（収入面でも精神面でも）にも助けてもらえる町であってほしい。（40代女性）
- 子育てに関しては、力を入れてもらえていると思うが、老人に対して、例えば免許証を返納した場合の足の確保。病院や、コミュニティーへの誘い。独居老人などへの声かけなど、見守りの必要とされる人が多い気がします。孤立しないための何かをもう少しわかりやすい形で発信してほしい。（40代女性）
- 若者から高齢者まで同じ場所で過ごせられるところがあればと思います。図書館と高齢者施設、児童館等が近くにあり、コミュニティバスが利用しやすいければ高齢者の免許返納も進み、安全に住みやすい可見市となるのではないのでしょうか。（50代女性）
- 市民の暮らしが安心、安全第一の街になって欲しいです。（50代女性）
- 外国人を含め若い人が多い活力のある市を目指してほしい。（50代男性）
- 進学で県外・市外へ出て就職や結婚などで可見市に戻ってきて、可見市にずっと住み続けてもらえるような市になると良いです。お年寄りも子どもも安心して暮らせる市になってもらいたいです。（50代女性）
- 可見市を盛り上げる行事など若者が興味を示す内容が必要だと思います。行事内容や運営を学生や若者に任せて行う事で可見市に興味を持って貰うことが出来ないのでしょうか！（60代男性）
- 情報伝達をかたい文章では無くやわらかい表現で周知する方向性が必要かと考える。とかく行政は、理解しがたい表現を使いがちでかっこばかりで中身がよくわからない物が多い。（60代男性）
- 市の税収が増えないことにはいろいろな施策ができないので、企業誘致を今まで以上に進めるべき。（60代男性）
- 市職員の能力開発の参考にするために、人事評価の際、上司から部下への評価だけではなく、部下から上司への評価も導入してほしい。（60代男性）
- 若者が住みたくなるような、働きたくなるような、活気のある市になってほしい。安心して過ごせる市になるよう願っています。よろしくお願いします。（60代女性）
- 広見にある図書館を新しくか大きくかなんとかならないものか。駐車場も分散され使い勝手が悪いものがある。市役所近くの図書館としては淋しい限り。（70代女性）
- 今、可見御嵩インターに工業団地の造成が進んでいるが、どんな企業を誘致するのか分からないが、地元の工業高校生達が、こぞって働きたい希望が出る様な企業を是非誘致して欲しい。商業、高校生、若者の都会への流出防止に取り組む施策を打ち出して欲しい。地元高校生の可見市内への就職率が低すぎる。（70代男性）
- 高齢者免許返納と云われますが交通の便が悪くて出来ない（70代女性）
- 魅力的な行事等が少ない（ほかの都市に比べて。）新しいことがほとんどない。（80代男性）

2 求める議会・議員の姿、要望・意見など

(議会・議員の役割、議会・議員活動の見える化)

- 若い世代の人がもっと出てきてほしい。議会とは。何をやっているのかよくわからない。(30代女性)
- 公約が達成されたと実感できたことがあまりないので何%くらい達成できているのか。今、何に取り組んでいるのかなどもっと情報を流していけば良いと思う。(40代女性)
- もう少し分かりやすく議会の活動が見える化してほしい。議会では何をしているのか分かりにくいから、皆、選挙にも興味がないのだと思う。(40代女性)
- 市議会の議案・議決結果について詳細をかみ砕いてもっと周知してほしいです。(40代女性)
- 目に見えての変化を感じられない。何をしているかが分からない。動画配信とかで誰でも見れるようにするとか。広報にもあまり見られてないと思うので。(40代男性)
- 市議は選挙中しか街頭に立っている所しかみない。あと何をしているかよく知らない。何を提案し決議し良くなったと思うアピールを市議がして欲しい。(50代女性)
- もっとわかりやすく議員一人一人が何をするのか、何をしたのか、公約を実行できたのかをはっきり示すべき。さらに自分が当選したら市民の生活などがどう変わるのか、もっと良くなることをわかりやすく示せる方法を考えるべき。若い人を中心にどうやって選挙や立候補者、その公約に関心を持たすことができるかだと思う。(60代男性)
- 市民の代表なのだから議員個人個人が何をやっているのか明確にしてほしい(60代男性)
- 可児市議会が何をしているのかはあまり知らないなので、もう少し成果や活動をアピールして欲しい。(20代女性)
- 市議さん一人一人の功績がもっとわかるとよい(可児市のためにどんな仕事をしてくれたか)(60代女性)
- 市議会の活動が我々一般の市民からは見えていない。取り組んでいる課題や活動状況をアナウンスすることが必要だと思う。(60代男性)
- 小さな・議会が知りたい。今月情報など。(70代女性)

(身近な議会・議員、市民の意見を聴く議会・議員)

- 若い世代に議会について興味を持ってもらえるような取り組みをして欲しいと思います。(20代女性)
- 市民の声を聞く場を増やしてほしい。市議会議員のしたいことは発信しているが、どこの市民からの声を実行に移そうとしているかわからない。(30代男性)
- 議会が別世界の事に感じる雰囲気がある。議員さんは忙しいと思いますが、普段から支援者以外の人たちにも声掛けをしてみたいはいかがですか？私は、話をしてみたいと思いますよ。(40代男性)
- 市民の本当の気持ちをもっと聞いてほしい。誰もが市議会について興味を持てるような対策を考えてほしい。無駄のない仕事をしてほしい。(50代男性)
- 目安箱ではないが、土曜、日曜等に、議員さんが当番制で直接市民がらの陳情を受けるなどの取り組みをすることで、市民の声を市政に反映しやすくする取組みがあると良いのに、いつも思っている。(50代男性)
- 地道な議会活動と市民からの意見の吸い上げ(60代男性)
- 国政でもそうと思いますが、市議会議員がもっと可児広報だけでなく、身近に感じる行動をとる様にしてほしい。関係ある人でなく！(70代男性)
- 市議会と市民の垣根が無いような市。(70代男性)
- 選挙の時だけでなく積極的に市民の中に入り、街頭などで議会報告や個人の考えや思いを話しかけてはどうか。市民から見ても議員が見近な存在になるとよい。(70代男性)

(議員の高齢化・若返り)

- もっと若い人が市議会議員になり、どんどん改革していった欲しい。(20代男性)
- 議員の定年制をつくり、世代交代を。(30代女性)
- 年寄りでは頭がかたい。もっと若い人達が出てほしい。(50代女性)
- 若い人が活発に活躍できる市議会であってほしいです。何十年も前のやり方では期待できない。他の自治体の成功事例に耳を傾け、いい事は積極的に取り入れて実行してほしいです。(60代女性)
- 30代～50代の若い議員が多い議会になってほしい。(70代男性)
- 若くて思い切った行動力のある議員さんと、思慮分別のある議員さんに切磋琢磨していただき、可児市をよくしてほしいです。(80代女性)
- 古くも新しくもある町地域の要望も多々あると思いますが声の大きさ、古い順に決めるだけでなく若い議員さんにも広く声を聞き進める議会に。議員さんにも定年制を(70代男性)

(議員の定数削減)

- 20人以上も議員はいらないと思う。(30代男性)
- 議員定数削減に心血を注いでください。(40代男性)
- 市会議員の人数を減らし片寄った考えや昔ながらの慣習をなくして欲しい。(50代女性)
- 最初に議員削減の実行。(50代男性)
- 市議会議員の人数を減らして、税金を有効に使って欲しい。(60代女性)

(その他)

- 批判ではありませんが、市議会は目先の内容ばかりで、かつ、お金の使い方がもったいないと感じる。市として、中長期的な共通の考え(ゴール)を議論し、その方針の下、施策を検討した方がいい。また、実行した施策の効果を数値化(数値化できないなら実行する施策が有効かも判断がつかないはず)し、公表する。みんなで議論しより良い方へ変えていけるとよい。(40代男性)
- SNSは「かたい」イメージがなく、すごく手軽な感覚で活動が知れるツールだと思います。選挙期間中だけでなく、今現在が多く発信されたら、もっと若い世代の方々にも楽しんで可児市民の一人として参加できていくのではないかなと思いました。(40代女性)
- AI、デジタルなど最先端の技術を活用して活性化してほしい。
可児市議会のYouTubeのサムネで重要な議題がぱっと見てわかるようにしてほしい。(40代男性)
- 市議さんには子育てしやすいとか、高齢者に優しいとか、働きやすいとか、何か全て中途半端な感じがするので、新しいアイディアで任期をめいっぱい有効に使って頂きたい。(40代女性)
- 一部市町村では、議員の成り手が居ないという状況にある中で、市民の福祉向上の為、頑張って頂きたいと思います。(50代男性)
- 新たなアイデア、時代に沿った変化を議員の方々には臨みます。現状維持では可児市の未来は細りしかないですね。(50代男性)
- 身近に魅力的な立候補者がいないと、選挙に行く気がしない。可児の未来を一緒に考えたいという姿勢の議員を望みます。(50代女性)
- だれがやっても同じような議会なら不要です。議員の力で何か変わったことがありますか?何のための議会か、皆に教えてほしい。(60代男性)
- 議員報酬の一部を市政または市民の家計に還元することで今回の物価高による市民の痛みに寄り添う姿勢を示すのは。プラスの流れとなるのではないかと。(60代)
- もっと議員に関心持てるように18歳になったら議会の見学を必ずすることを定めたらどうかと思う。(70代女性)
- 議員さんに市政をもっと学習してほしい。(70代男性)
- 当選回数のない議員さんの活動は活発だがベテラン議員さんはどうか。マンネリ化か。(70代女性)

3 市民の意見を聴く機会の充実（行政・議会問わず）

- webで意見を聞いてもらえるのは有り難い。（20代男性）
- 市内の問題を聞きとって、OPENな議論して解決していく事。（50代男性）
- 市民の声をもっと聞いてもらったら。役所の職員の資質向上を。市長、議員の資質向上を。（50代男性）
- 市民からの意見・要望を言いやすく、受け止めるようにしてほしい。（60代女性）
- 市民の要望事項・情報収集の手段を再検討されては如何でしょう。それに対する状況のフィードバックする方法の見直し。市民と市政の繋がりを深くすれば投票率にも影響がでるのでは。（60代男性）

4 選挙に関する意見

- 選挙の時、誰に投票しようか考えますが、候補者の方の公約が分からないので、スマホで簡単に見れると良いと思います。（30代女性）
- （ぎふワールド・ローズガーデン）投票日に無料にして投票場所にしてみては？投票しに行ったら花とかもらえたら行くかも！キャラクターが迎えてくれたら子供も喜びそう！（30代女性）

5 その他

- どうして可児は他の市町に比べて何に対しても盛り上がり欠くのか。近くが多治見市はすごく頑張っているようにみえます。（50代）
- 期待するだけ無駄なので期待していない。（30代女性）
- 今の可児市のイメージがどのようなものが分からないので、何をどう期待して良いのかよく分からない。（50代女性）
- こうやってアンケートをとってくれたことは、政治を身近に感じる機会になったので良かったです。（30代女性）
- 現状に満足している為、特に無し。コロナで大変だったと思われる時でも、給付・ワクチン接種・マイナカード登録など、スムーズに処理してくれたと思う。（40代女性）
- 派手ではありませんが、堅実な市政は良いと思います。（50代男性）
- 今のままでいい。でも頑張る人たちがたくさんいて、力を合わせて住人のことを考えてくれればいい街になると思う。（70代女性）
- 色々考えてくださっているんで、このまま市民のためにみんなにやさしい可児市でお願いします。住みやすいまちなので、可児に越してきて良かったと思っています。（30代女性）

3 今後の議会活動について

このアンケート結果を受けて、今後議会としてどのような活動に注力していくべきかをとりまとめました。

今回のアンケートは、令和5年7月30日に執行された市議会議員選挙の投票率が過去最低（37.57%）となったことを受け、臨時で実施したものです。

有効回収率は31.9%と、過去3回実施した議会アンケートの回収率（平均40.9%）よりも9ポイントほど低い結果となりました。

これまで可見市議会では、平成20年代から現在まで、議会サイクルの確立や予算決算に関する市長への提言、高校生議会や模擬選挙の実施など、様々な議会改革を行ってきました。議会に対する意見等の中には、すでに取り組んでいる内容も多々ありますが、その活動が知られていないということが改めて確認されました。

今回のアンケート結果では、選挙に行かなかった理由や、議会に対する意見等においても、議会の役割や議会が何をしているのか分からない、議員をそもそも知らないなどの声が多く、議会・議員に対する認知度や関心、期待度は総じて高いとは言えない状況でありました。

このことを、可見市議会として真摯に受け止め、改めて「どうあるべきか」、次の事項を軸としてさらなる取り組みを推進してまいります。

広報・広聴活動の充実強化、多様な世代へのアプローチ

可見市議会では、広報活動として、議会広報紙やホームページの充実、インターネットでの動画配信に加え、令和4年からInstagramを活用し、議員自身が情報発信するなど、様々な広報媒体を用いた議会活動の周知を行ってきました。

しかし、広く知られているとは言い難い状況です。正確な情報発信はもちろんです。が、目につきやすく、議会・議員を身近に感じることができるツールとしてSNS等をさらに活用し、多様な情報発信を引き続き行います。

また広聴活動としては、幅広い意見を聴くために、議会報告会の毎年開催や各常任委員会における懇談会など、議会と市民が交流する場を設けていますが、若い世代や子育て世代の参加は少なく、どうしても参加者層が固定化する傾向にあります。

そのため、普段、議会と関わりの少ない人こそ交流できる機会や幅広い世代の意見を拾い上げる場の構築のために、アウトリーチの手法を強化してまいります。

今回、低投票率を受けアンケートを実施しましたが、投票率向上を目的とするのではなく、市民の負託を受けた全議員がその職務を全うし、市民が議員・議会の役割や成果を身近に感じることができれば、結果として投票率向上にもつながると考えます。議会・議員活動の目的である「市民福祉の向上」のために、今後もあらゆる取り組みを推し進めてまいります。

選挙に関するアンケート

問1 年代を教えてください（○をつけてください）

18～19才・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上

問2 性別を教えてください（○をつけてください）

男性 ・ 女性 ・ その他（回答したくない等）

問3 令和5年7月30日の可児市議会議員選挙に行きましたか？（○をつけてください）

- 1 行った
- 2 行かなかった

（理由：）

問4 今回の市議会議員選挙の投票率は過去最低の37.57%でした。（前回は55.34%）
このことについてどう思われますか？ご自由にお書きください。

問5 投票率はどうしたら上がると思いますか？（○をつけてください：複数回答可）

- 1 市長選挙や国政選挙と同日に行う
- 2 人が集まるショッピングセンターや学校に投票所を設置する
- 3 スマートフォンで投票できるようにする
- 4 その他（自由記述）

問6 「こんな可児市になってほしい」、「可児市議会へ期待すること」など、
ご自由にお書きください。

☆アンケートは以上です。ありがとうございました。

※右記の二次元バーコードまたは <https://logoform.jp/form/JZuZ/394047>
からでもアンケートにお答え頂けます。
（その場合はアンケート用紙の返信は不要です）

